



1日農業バイトデイワークの取り組み

Kamakura Industries株式会社
代表 原雄二

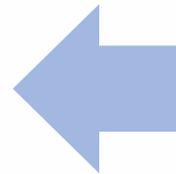


なぜデイワークが生まれたか？

- 常時雇用や派遣では補えない「一時的」な人手不足
- 多くの方は農家の知り合いがいない限り農業と接点をもつ手段がない
- 農家の求める期間だけ都合よく働いてくれる人はもういない



農繁期だけお願い



共働きが当たり前

なぜ「1日単位」なのか

- 「まず体験してから」の時代
- 農業を知る入口、就農・事業継承のきっかけ
- 現役労働世代は1日単位でなければ働けない
- 1日単位にすることで対象者は労働人口全員に広がる



副業者を受け入れる

デジタルの力を使う

デイワークの概念

人による仲介なし



求職者

求人



求職



生産者



JA・行政管理画面

マッチング状況を確認するだけ

1日バイトアプリ デイワーク
daywork

- 仲介者不要のマッチングが可能となった
- 1日単位のマッチングが可能となった
- 労働人口全員に農業参加のチャンスが広がった

人集めの方法一覧

取り組み難易度

難易度・低

- 親戚・知り合い
- ハローワーク
- シルバー人材センター
- 民間サービスによる斡旋
- 派遣会社
- 無料職業紹介所
- 外国人実習生・研修生
- 農福連携
- 産地間連携



デイワーク

入口はもっと気軽に。ここから様々な雇用形態が生まれている



新規就農

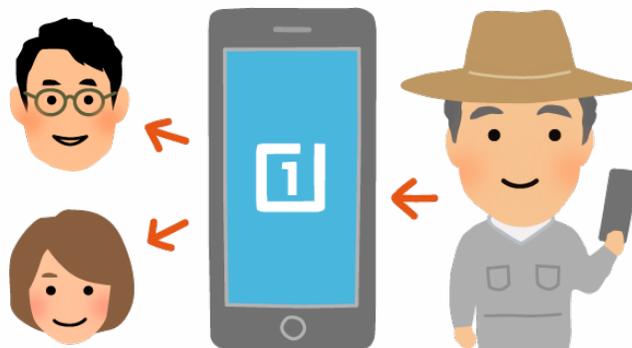
常時雇用

家族ぐるみの付き合い

難易度・高

これからのスマートなマッチングとは

1. まずは1日～数日の体験をデイワークで行い、仕事内容、労働環境、雇用主との相性を確認し、その後の常時雇用、パート採用を当たり前とする。
2. 新規就農、事業継承をしたい人との出会いも同様。まずはデイワークで多くの生産者、求職者との出会いを作ることが必要。



常時雇用後のミスマッチは被害が大きい

2024年のマッチング実績



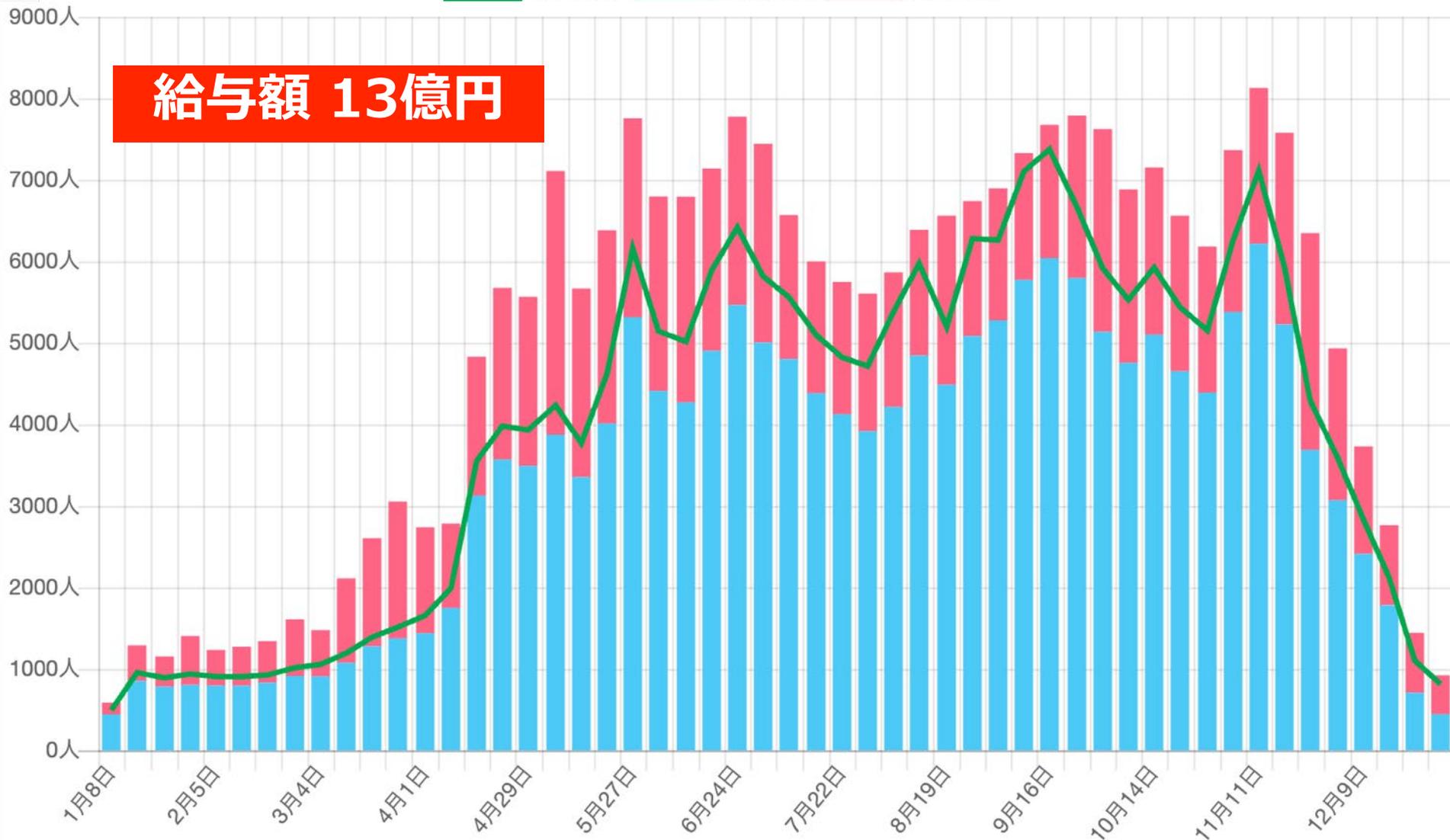
生産者: 9,400名 登録



求職者: 83,800名 登録

のべ178,968人

■ 募集人数 ■ 成立人数 ■ 応募人数



2024年の雇用データ

- 利用生産者数：2733人
- 仕事登録数：83,054件
- 平均時給：1,109円
- 平均実労働時間：6時間40分
- 平均拘束時間：7時間41分
- 平均日給：7,393円
- 限定公開率：19%
- 募集人数：208,983人
- 応募人数：263,444人
- 成立人数：178,968人
- マッチング率：85%
- 仕事中止率：6.9%

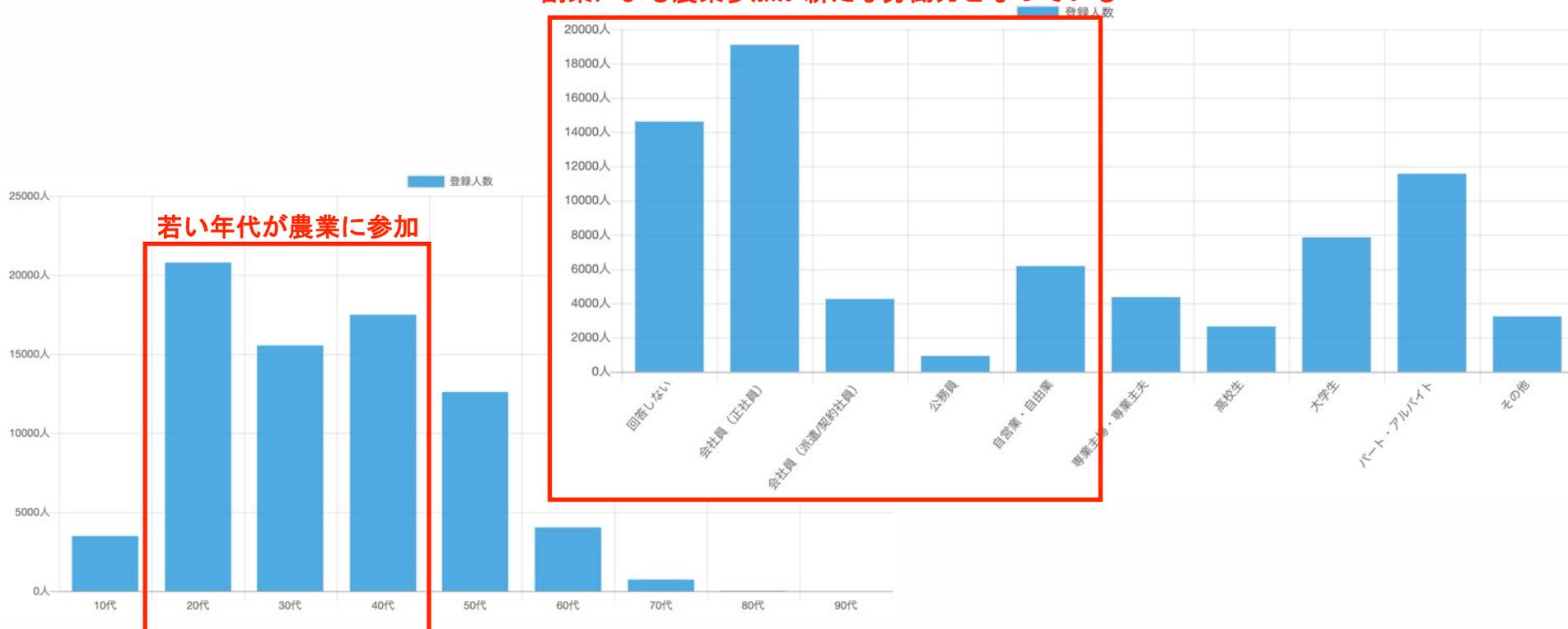


求職者の実態

- 半分は副業者
- リピータ率は8割。2割は1度経験して去っていく
- 週1~2回、月に1~2回という使い方が多い



副業による農業参加が新たな労働力となっている



現場での課題

生産者の課題

- 高齢生産者によるIT利用の壁
- 家族雇用の延長線上にある労務知識の不足
- 連絡・返信が遅い or しない
- 「天候」「発育不足」を免罪符に気軽に中止にする慣例



求職者の課題

- 生産者との相性の問題
- 給与に見合った働きをすぐにはできない習熟度問題
- 作業をする体力、能力不足
- 「本業」「体調不良」を免罪符に気軽に辞退する意識の低さ



コーディネータの役割と必要性

- アプリの指針通りに募集することによる法令遵守の維持
- 求職者との誤解、トラブル発生時の「第三者」としての機能
- 現場で発生した理不尽な出来事を聞いて冷静になっていただくガス抜きとしての役割
- 行政、JAからのお知らせを伝えるハブ的役割
- デイワーク上に蓄積された履歴、応募動向データを活用し不幸なミスマッチを防ぐ役割



農業界に人が集まらない3つの理由

次の条件が満たされていないため人手不足になりやすい。

- 1.時給の低さ（ケースバイケース）
- 2.条件の悪い労働環境（改善可能）
- 3.副業が禁止されている社会慣例（外的要因）



上記の中で生産者が対応できるものは何か？

上記の中でJA・行政・社会が対応できるものは何か？

副業解禁は必須！なぜ副業禁止が多いのか？

理由1

戦後、厚生労働省が作成した企業の就業規則ガイドラインで副業禁止だったため

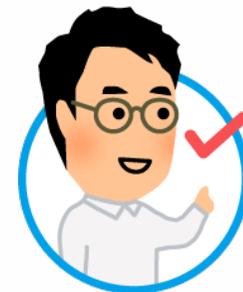
→ 2018年に改定済み

理由2

企業側が「情報漏洩の心配」「疲れて本業に集中できなくなる」と考えるため

→ 農業であれば情報漏洩の心配なし

→ 社員の休日に「マラソン・水泳禁止」と強要できるか？



理由3

本業、副業で労働時間が通算され、本業の企業が割増賃金を支払うケースがあるため

→ 農業は労働時間の適用除外を受けているため問題なし

「一般的な副業」と「農業の副業」は分けて考えるべき

デイワークを通じて知っていただきたいこと

農業界の武器とは

- 農業従事後期高齢者の医療費は3割も少ない
- 農業従事者の健康寿命が長い



食

運動



- これら良いデータはホルモン分泌による結果と示唆されている
- デイワークは健康に目覚めるよい機会となる
- 特にデスクワークメインの現役労働世代に健康に目覚めてほしい

国・自治体・企業への要望

- 副業ルールの啓発と法的整理
- 一般副業と農業副業の違いの理解
- リモート可能業務で農業参加への情報提示
- 農業参加を活用した従業員の健康意識向上への取り組み
- デジタル活用への補助やサポート体制整備

